学校番号	3017

令和８年度　工業科（産業創造系）

教科	工業	科目	工業管理技術	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	工業管理技術　新訂版（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

組織として、よい製品やサービスをつくり出すための工程やその考え方、工程や品質管理や業務改善に必要なデータ収集と分析、活用の方法について学習します。特に QC 七つ道具を活用した実践的な生産管理と品質管理のワークをとおして、よりよい製品づくりに必要な組織的な考え方や手法を身につけていくことめざします。この授業で学習したことを生かし、安定した生産工程に貢献できる実践力を高めていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
製造業における生産工程および、組織管理の方法についての学習をとおして、生産効率の向上や品質管理等に関するツールを用いたデータの分析手法を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
生産工程における不具合や改善点を見出し、品質管理等のツールの分析結果を考察することで、組織体制および、生産計画等の見直しを検討し、提案することができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
組織管理や品質管理の規格や関連法規に関心をもち、安定したものづくりを実現できる方法を試行錯誤しながら、現状の課題発見や解決について主体的に取り組む姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・企業のしくみや企業で行われているさまざまな管理技術に関する知識が身についている。 ・生産管理、工程管理、品質管理、安全衛生管理、企業会計などで用いられる工業管理技術の手法を正確に理解し、発表やレポートにまとめることができる。	・生産システム技術、機械工作、実習や製図で習得した関連知識や技能を生かし、工業管理技術について発展的に思考・考察し、導き出した考えを的確に表現できる。	・職業や産業の概要、生産管理、工程管理、品質管理、安全衛生管理、環境管理、人事管理、企業会計および工業経営関連法規などに関心をもっている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	職業と産業	・職業とは ・産業とは ・製造業とは ・起業とは	a：産業はどのように分類されているかに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、学習態度はまじめである。また、製造業の競争力の特徴や製品の品質・価格・納期の需要の３要素について理解している。 b：みずからの卒業後の進路に関連して、職業にどのような知識・技能が必要かをレポートにまとめることができる。 c：職業はどのように分類されているかに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、学習態度はまじめである。	ワーク 小テスト	ワーク プリント レポート	授業態度
	企業の仕組み	・企業とは ・管理組織 ・管理業務	a：生産活動の５Mや管理サイクルの内容を認識でき、管理業務の機能を考察でき、共同企業の組織編成によって、経営責任の内容が異なることを理解している。 b：ライン組織，ラインスタッフ組織の特徴を調査し発表することができる。 c：合名会社、合資会社、有限会社、株式会社、協同組合の特徴を比較し考察できる。	ワーク 小テスト	ワーク プリント レポート	授業態度

	工業管理技術の概要	・製造業のしくみ ・工業管理のしくみ	a：生産活動に必要な情報や、生産活動の課題を解決するために必要な工業管理の役割について考察できる。工業管理技術の重要性を認識し、工業管理業務の基本的な役割を理解し、管理サイクルに関する知識が身についている。 b：製造業の海外移転の背景や商品開発力、製造技術の重要性を認識し、その概要を理解している。 c：生産のしくみはどのようになっているか、複写機の例を通して、物・生産の流れについて関心をもち、意欲的に学習に取り組み、学習態度はまじめである。	ワーク 小テスト	ワーク プリント レポート	授業態度
	生産管理	・生産管理の役割と意義 ・生産形態 ・生産計画 ・工程管理 ・物流	a：物流の概要についての知識を身につけている。各例題を参考にして、工程表、ガントチャートによる機械別計画、パート図、流動数曲線などを作成する技能をもっている。 b：受注生産と見込生産、個別生産と連続生産を比較しそれぞれの特徴を考察できる。 c：生産管理の体系、生産管理のＰＤＣＡサイクルから概要を判断できる。	ワーク 小テスト	ワーク プリント レポート	授業態度
	工程分析と作業研究	・工程分析と作業研究の役割と意義 ・工程分析 ・作業研究	a：作業研究はどのように構築されているかなどについて関心をもち、意欲的に学習に取り組み、作業研究では各手法の内容、特徴を比較し、その効果などを考察できる。 b：実習の作業状況や自宅から学校までの経路を調査し、工程図を作成したり発表することができる。 c：工程分析はどのような内容で構築され、どのような役割をもつのか、などについて関心をもち、意欲的に学習に取り組み、学習態度はまじめである。	ワーク 小テスト	ワーク プリント レポート	授業態度

2学期	品質管理	・品質管理の意義と目的 ・品質管理の手法 ・品質検査 ・品質保証	a：ランダムサンプリングのさまざまな手法を説明することができる。また、データをとる目的について基本的な考え方を理解している。 b：度数分布表からヒストグラムを描くことができる。 c：企業で行われている品質管理活動に関心をもって意欲的に学習に取り組み、学習態度はまじめである。	ワーク 小テスト	ワーク プリント レポート	授業態度
	安全衛生管理	・安全衛生管理の役割と意義 ・労働災害 ・安全衛生活動 ・安全衛生管理組織	a：職場で行われている安全衛生教育の必要性について理解し、意欲的に学習に取り組み、工業科における各実習は、企業の現場に近い状況で行うことが多く、種々の危険性をともなうことがあるが、利潤や生産が目的ではない学習の場で、絶対に事故や災害があってはならない。このような観点から、実習中においてヒヤリ・ハットしたことを話し合い、レポートにまとめることができる。 b：労働災害の防止では、３００運動やヒヤリ・ハット活動、ＫＹ活動の目的・内容を理解し身につけている。 c：産業活動に起因する災害や職業性疾病、安全衛生管理の目的・内容に関心をもっている。	ワーク 小テスト	ワーク プリント レポート	授業態度
	環境管理	・環境管理の役割と意義 ・環境問題への取組み ・企業の環境保全への取り組み	a：環境問題への取り組みについては、四大公害、７公害の概要から、発生の経緯や内容について理解している。また、循環型社会の形成や３Ｒへの取り組み、省エネルギーなどへの取り組みなどから企業の環境保全への取り組み状況を考察できる。 b：四大公害や７公害の概要と環境保全の例を参考にして、地球規模での環境保全について考察できる。 c：環境管理の役割の概要について関心をもち、意欲的に学習に取り組み、学習態度はまじめである。	ワーク 小テスト	ワーク プリント レポート	授業態度

	人事管理	・人事管理と役割と意義 ・労働契約と労働関連法規 ・人事政策と人事管理 ・人材育成 ・人事考課と処遇 ・福利厚生	a：労働費用の構成については、学校へ送付される求人票の所要事項と比較し考察できる。福利厚生については、学校に送付される求人票などを通して、住宅関係や社会保険などの概要について理解している。 d：人事管理の役割について、学校に送付される求人票などを通して、採用試験、人材育成、賃金管理などの概要について理解している。 b：採用管理などを通して、人事管理の役割と意義について関心をもち、意欲的に学習に取り組み、学習態度はまじめである。 c：人事管理の役割と意義について関心をもち、意欲的に学習に取り組み、学習態度はまじめである。	ワーク 小テスト	ワーク プリント レポート	授業態度
3学期	企業会計	・企業会計の役割と意義 ・原価管理 ・財務諸表	a：会社の経営状態を判断する基本的な資料として、貸借対照表の構成を理解している。原価計算は、製品の製造に要した費用を計算するもので、記録や計算は簿記のしくみを通して行うものであり、原価計算の目的を理解している。 b：実習内容を材料費・労務費・経費の3原価要素に分類・調査し、製造原価の算出から、レポートを作成、発表することができる。 c：企業会計の役割と意義、目的について、財務会計と管理会計などに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、学習態度はまじめである。	ワーク 小テスト	ワーク プリント レポート	授業態度
	工業関連法規	・法令の体系 ・企業経営一般に関する法律 ・労働関係に関する法律 ・技術と工業振興に関する法律 ・環境保全に関する法律 ・製造業に関係する資格と法令	a：技術と工業振興に関する法律を調査し、レポートを作成し、発表することができる。実用新案法や意匠法によって保護されているものを例をあげて説明できる。 b：企業経営一般に関する法律の内容に関心をもち、意欲的に学習に取り組み、学習態度はまじめである。 c：地域社会においては、各法律が具体的にどのように適用されているかを比較・考察することができる。	ワーク 小テスト	ワーク プリント レポート	授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度